

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

病院等の名称	秋本医院
見直しを行った機能	慢性期
H30許可病床数からの削減数	19床
変更予定年月日	令和3年2月

1 地域の状況…山口・防府医療圏は県下最大の面積ですが、過疎化が進んでいます。		
地域の現状と課題	高齢化と人口減少が予想され、医師不足と医師の高齢化も地域医療に悪影響を及ぼしています。急性期医療を担う病院は5病院ありますが、回復期病床が399床と極端に少ない状況にあり、急性期治療が終了した患者さんの行き場のない状況があります。	
2 自施設の状況…19床の有床診療所で入院基本料2を算定しています。		
自施設の現状 (変更前)	入院施設を有するかかりつけ医院として地域医療に貢献してきましたが、慢性的な看護師不足に加え新型コロナが流行し、スタッフのストレスがピークとなっております。	
病床数の見直し	見直しの考え方	無床化し在宅医療に力を注ぎたいと思います。
	対象の病棟・病床の概要	
	入院患者への対応	長期入院患者さんはおりませんので、問題ありません。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	無床化することにより、地域の回復期病床確保に寄与出来ます。	

【参考：H30病床機能報告(山口・防府保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①H30(2018)現状	544	1,379	574	1,276	108	-	3,881
	②R7(2025)予定	508	1,265	730	1,064	154	160	3,881
構想	③R7(2025)必要数	275	974	899	860	-	-	3,008

④構想との差(H30)((①-③))	269	405	△ 325	416	-	-	765
⑤構想との差(R7)((②-③))	233	291	△ 169	204	-	-	559